

中学生連載企画

私たちのふるさと松山学 No.48

重信川についての学習



水生生物調査の様子

国土交通省、愛媛県、愛媛大学の協力のもと、昨年7月に重信川の水生生物調査を行いました。その後、「水生生物」「環境」「利水」「防災」「歴史」の5つの講座に分かれて、自分たちの選んだ課題について調べ学習や体験活動を行いました。さまざまなお話を聞いて、今年1月には、重信川の自然をめぐりむかしのフオーラムで代表者が校外の人たちに講座の学習の成果を披露しました。

椿中学校

私たちの通う椿中学校では、1年生は毎年、総合的な学習の時間に重信川について調べています。私たちは、重信川や地域の歴史について調べました。

重信川と地域の歴史

足立重信ってどんな人？

足立重信の人生

湯山川の付け替え

重信川の名称

ちなみに市坪では

重信川の歴史

歴史講座では、重信川や椿中学校周辺の歴史について調べました。まず、校区内に住んでいる元県教育センター所長の池田先生に、校区の歴史についてお話をいただきました。

遠い昔、氷河期の日本列島は大陸と陸続きで、瀬戸内海にナウマンゾウが来ていたことを聞いて驚きました。椿中がある市坪は、昔は「市の坪」と言われ、川は現在の場所とは違う場所を流れていて、ウナギなどが捕れていたそうです。重信川は改修工事に力を尽くした足立重信の名前を付けた川で、人名を付けた川は全国的にも珍しいということ。川が氾濫すると下駄がぶかぶかと水に浮き、床下に流されてしまうため、この辺りでは玄関に下駄を置かず、家の中に持ち込んでいたそうです。さらに、建物の1階からは入れなくなるので、庭の木に登って2階から家に入ったそうです。

池田先生には戦争中のお話も聞かせていただきました。出合の付近にアメリカの飛行機が墜落したことがあったそうです。飛行機に乗っていた人がしばらく木の茂みの中に隠れていて、翌日になって出てきた話や、戦争が終わってすぐに来てきたアメリカ兵の車に乗って神社を案内したことなど、びっくりするお話でした。私たちは戦争といえば、広島や長崎の原爆や東京大空襲などしか知りませんでしたが、池田先生の

お話を聞いて、私たちが住む椿中校区にも身近に戦争があったということを知ることができました。



重信川や地域の偉人

足立重信は重信川の改修のほか、石手川の付け替え工事を行ったり、年貢率を設定したりして松山藩初期の財政基盤の整備充実に力を尽くしました。安長九郎左衛門は重信川の堤防作り

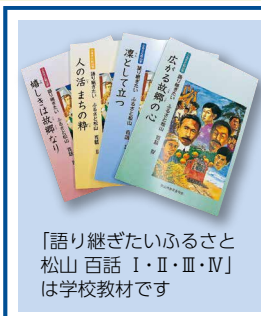


安長九郎左衛門が尽力した堤防跡地

私たちの椿中学校

私たちは、椿中の歴史についても調べました。椿中には、自慢の校歌があります。とてもメロディがきれいで、校歌では珍しく、女声パートと男声パートがある合唱曲です。入学式や卒業式などで歌うとき、心を一つにすることができま

先人と文化の読み物教材 広がれ！ふるさと松山の心



「語り継ぎたいふるさと松山 百話 1・II・III・IV」は学校教材です

34年の歴史の中で、学生会や音楽集会など、なくなった行事もありますが、合唱コンクールや体育大会など、ずっと続いている行事もあります。地域の皆さんには、ぜひ、椿中に来ていただき、私たちのがんばりを見てもらいたいと思います。

最後に椿中のよいところを紹介いたします。それは「あいさつ」です。あいさつは心と心をつなぎます。あいさつが響く椿中学校はみんなが明るく笑顔あふれる中学校です。これからも「あいさつ日本一」を目指してがんばりたいと思います。

地元の先人の功績を誇りに思います



後列左から 阿部美咲さん、上田心咲さん、市川遥音さん、田野岡優奈さん 前列左から 越智琴女さん、井上こはるさん、武智陽向さん (いずれも1年生(3月末時点))

現在の松山の土台を築き上げた先人たちは私たちは誇りに思います。これからも、地域の人たちの功績について調べていきたいです。